

令和2年度埼玉県ディスコン交流競技会の結果報告

開催日時：令和2年11月3日（火・祝）13：00～16：30

開催場所：上尾スポーツ総合センター アリーナ

参加チーム：18チーム（1チーム3名編成、さいたま10チーム、所沢4チーム、横瀬3チーム、川口1チーム）

参加人数：競技者51名、スタッフ8名、合計59名

競技方法：コート6面（5m×10m、バドミントンのラインを一部利用）を使用し、1コート3チームでのリーグ戦を相手とコートを代えて1チーム合計4試合を行いました。

1ゲーム13分間の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分けは1点、負けは0点とし、4試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定しました。

大会趣旨：①今年度はコロナ禍のため、例年の大会方式ではなく、埼玉県外からの参加は取り止め、規模を縮小して（午後開催、参加チーム数、試合数）新ルールの確認を含めた「交流目的」の競技会として開催しました。

②この大会は第33回埼玉県民総合スポーツ大会の一環として位置づけられ、埼玉県知事の表彰状が県から交付されました。また、埼玉県レクリエーション協会からの補助金交付も受けました。

③マスク着用、手指と用具の消毒、ソーシャル・ディスタンス、握手禁止などのコロナ対策を徹底しました。

大会概要：開会式は松本事務局長の司会により、町田副会長の開会宣言で始まり、山田会長から上記の大会趣旨が説明されました。



前回優勝のさいたま支部Sチームから優勝杯が返還され、さいたま支部鷹巣光子選手から力強い選手宣誓がありました。

磯副会長から競技方法について次のとおり説明がありました。

- ・今大会は全日本ディスコンディスコン交流協議会発行公式ルールブックの新ルールを採用する。
- ・キャプテン（1番）と主審はインストラクターのみが行い、大会中投盤順は変更しない。
- ・メジャー測定で3mm以内は等距離扱いとし、等距離の場合はドロー。
- ・ポイント・ディスクのライン上の判定や、ポイント投げ2回失敗、20秒ルール、ずらし投法、投盤順の間違えなどにルール変更があった。

準備体操の後、各コートに分かれて練習を行い競技に入りました。

前半戦3試合の後小休止、後半戦3試合を行いました。試合結果は都度スクリーンに表示され、各チームは自チームの位置を確認しながら試合に臨みました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。

上位入賞：

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 優 勝 | さいたま・千葉チーム、4戦全勝、総得点24点（千葉、伊藤、菅原） |
| 準優勝 | 横瀬Cチーム、4戦全勝、総得点21点（島田、本橋、浅見） |
| 第3位 | さいたま・三浦チーム、3勝1敗、総得点23点（三浦、山岡、兼岡） |



優勝チームには、優勝カップ、賞状、賞品が授与されました。

賞品授与：上位3チームの他に4位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与されました。また、受賞以外のチームには参加賞が配られました。

閉会式：審判長を務めた町田副会長から講評の後、来年の大会での再会を約束して閉会が宣言されました。

下の写真は、開会式後の集合写真です。



(山田記)